

議会だより

● 発行所 ●

一宮町議会

〒299-4396 千葉県長生郡一宮町一宮2457
TEL 0475 (42) 2111 (代)
TEL 0475 (42) 1421 (直)
FAX 0475 (42) 2465

発行 一宮町議会
編集 議会報編集委員会



うれしい！プール遊び（一宮保育所）

平成 22 年 8 月
第 136 号

一宮中学校屋内運動場 改築工事始まる

- 6 月定例議会で決まったこと・表彰 … (2)～(3)
- 臨時議会で決まったこと
・ 議会の主な動き …………… (4)
- 一般質問 3 名の議員より …………… (5)～(7)
- 請願・発議・編集後記 …………… (8)

六月定例議会・補正

平成22年第2回定例議会は、6月17日に開催され、町長の行政報告をはじめ、報告1件、請願5件、発議5件、一般質問は3名の議員がおこないました。

また、議案として条例の一部改正など3件、補正予算については一般会計他3会計が原案とおり可決しました。

一宮町国民健康保険税賦課徴収 条例の一部改正

この条例改正は、国民健康保険税の限度額を引き上げ基礎課税額の限度額を47万円から50万円とし、後期高齢者支援金等賦課額の限度額を12万円から13万円に引き上げ、資産割を廃止し、補てん分とし所得割の改正をするものです。また、所得の低い方に対する均等割、世帯平等割額の軽減割合を6割・4割軽減から、7割・5割・2割軽減に改正し、非自発的失業者（倒産・リストラ等により離職）に対して、国民健康保険税が一定の期間軽減される改正をおこなうものです。

一宮町一般会計

補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億8千4百66万2千円を追加し、歳入歳出を39億8千4百66万2千円とするものです。

主な歳出は、職員の初任給・昇格・昇給の基準に関する規則見直しにより1千2百28万5千円、公共施設管理者負担金事業として2億8千8百95万1千円、千葉県緊急雇用創出事業3千7百10万円、緑の分権改革推進事業3千7百40万円などを追加するものです。

財源の主なものは、地方道路等整備事業債2億6千万円、千葉県緊急雇用創出臨時特例基金事業補助金3千7百10万円、千葉県「緑の分権改革」推進事業委託金3千7百40万円、前年度繰越金4千2百31万円を追加するものです。

反対討論

森 佐衛議員

一般会計補正予算に対して反対討論をおこないます。
7款土木費7目土地区画整理費2億8千8百53万8千円の公共施設管理者負担金の予算計上には賛成できません。

宮原区の白山地区も過去に小規模ながら区画整理を実施し、事業終了後には区画整理内の道路全てを町に寄附した。区民は、この経緯を知っているため、今回の公管金については全く理解していない。町内では、ほかにも田町、舞台、本給地区も区画整理事業を実施したが、終了後の道路の取り扱い、白山地区と同様である。舞台、本給地区は、東浪見地区とほぼ同時期に事業を実施し、各組合の努力により全て終了している。

東浪見区画整理の負担金事業費2億8千8百53万8千円と借入に伴う利子4千3百59万5千円を合わせると3億3千2百13万3千円となり、町民1人当たり2万7千円の負担金になる。

東浪見区画整理事業助成に関する調査特別委員会最終

報告のなかに「町は支援する段階になったら住民合意が得られるように最大限の説明責任を果たすこと」と明記している。町は、町民に対し説明責任を果たしておらず、町民の大多数は理解していないと思う。
以上の観点から、公共施設管理者負担金については賛成できない。

賛成討論

中村新一郎議員

東浪見区画整理事業は、町の基本計画として基幹事業に位置づけられている。昭和63年に積極的な人口増加を図るために町主導で実施された。このまま放置し、金融機関との契約不履行となれば利子元金合わせおおよそ20億の負担となり組合は破綻してしまう。ここで町が公共施設管理者負担金を支援することにより解決するのであれば、組合も、また道義的責任のある町としても責任は果たせる。組合解散（解決）にいたれば固定資産税も年間約2千万円強となり、10数年で公共施設管理者負担金は回収できる計算となる。

一日も早く町の「ガン」と言うべく問題を町と議会一体となつて解決すべきと考え一般会計補正予算に賛成する。

賛成討論

柴 重悦議員

一般会計の補正予算に対し、賛成討論をおこないます。
7款土木費の土地区画整理費の公共施設管理者負担金について、玉川町長より補足説明があったが、平成18年3月の議会特別委員会の最終報告では、支援内容について全員一致で採択がされた。その内容は、組合役員は賦課金徴収と保留地を完売することなど、最後まで責任を持つとしている。今現在の組合の取り組み状況を見ると、解決の見通しが見えてきたようだが、ここで一番大事な町側のさらなる指導を期待し、本補正予算に対して賛成する。



香り高い山ゆり 町の花

一宮町国民健康保険事業特別会計 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ83万2千円を追加し、歳入歳出を13億7千3百45万8千円とするものです。

歳入は、国民健康保険税の資産割を廃止し、その補てん分として所得割を上げ、また景気低迷による所得税減取により国民健康保険税を2千6百98万9千円減額するものです。

歳出では、人事異動に伴う人件費の減額及び老人保健拠出金の精算に伴うものです。

一宮町介護保険特別会計 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ45万3千円を減額し、歳入歳出を8億5千5百万6千円とするものです。

内容は、人事異動に伴う人件費の減額です。

一宮町後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9万5千円を追加し、歳入歳出を1億4千7百11万9千円とするものです。

内容は、人事異動に伴う人件費の増額です。

千葉県市町村総合事務組合 規約の協議

千葉県市町村総合事務組合の組織団体である印旛郡印旛村及び同郡本埜村が、平成22年3月23日をもって廃止され、その区域が印西市に編入されたことにより、組合の組織団体の数が減少することから、組合規約中の組合を組織する地方公共団体に関する規定及び共同処理する事務等について改正するための協議です。

千葉県後期高齢者医療広域連合 規約の協議

千葉県後期高齢者医療広域連合を組織する印旛村及び本埜村が平成22年3月23日をもって廃止され、その区域が、印西市に編入されたことにより、広域連合を組織する地方公共団体の数が減少することから、広域連合規約中の広域連合を組織する地方公共団体に関する規定及び共同処理する事務等について改正するための協議です。

自治功勞表彰

町議会議員として、多年にわたり地方自治振興発展に寄与貢献されてきた功績が認められ、千葉県市町村議会議長会長より表彰を受けました。（平成22年5月31日付）



写真

前列右から 鶴岡 巖議員（64歳）・
秦 重悦議員（68歳）・中村新一郎議員（68歳）
後列右から 島崎保幸議員（62歳）・
室川常夫議員（57歳）・高梨邦俊議員（56歳）

平成22年第1回臨時議会は4月30日に開催され、議案として条例の一部改正1件、契約1件が原案どおり可決されました。

一宮町税条例の一部を改正する 条例の専決処分承認

平成22年3月31日に公布された地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、同日付で一宮町税条例の一部を改正する条例が専決処分されましたが、議会で承認されました。

主な内容は次のとおりです。

- ・所得税が子ども手当や高校の無償化の創設の関係から、扶養控除の見直しがおこなわれたことに伴い、条項の追加がおこなわれました。

- ・給与及び公的年金の支払報告書の他に、新たに扶養親族申告書の市町村長への提出義務に関する条項が新設されました。これは、住民税の非課税限度額制度等に活用するため、所得税において年少扶養控除の廃止の後市町村が扶養親族に関する事項を把握できるように措置するものです。なお、平成24年度分の個人住民税から適用されます。

- ・満65歳未満の公的年金所得者の所得割額の徴収方法が変更されます。

平成21年度改正から、65歳未満の給与所得者が公的年金の所得を有する場合、公的年金分の所得割額は普通徴収されることになりましたが、これにより新たに納税の手間が生ずることになりました。そこで以前の制度のように特別徴収することもできるように改正されました。

- ・国民の健康の観点からたばこの消費を抑制するための税率の引き上げがおこなわれました。

道府県たばこ税1,074円から1,504円(1,000本あたり430円の引き上げ)

市町村たばこ税3,298円から4,618円(1,000本あたり1,320円の引き上げ) 10月1日から施行されます。

この他金融所得課税の一本化の取り組みのなかで個人の株式市場への参加を促進する観点から、平成24年から実施される上場株式等に係る税率の20%本則税率化にあわせて、平成24年度から26年度までの間に、金融商品取引業者等の営業所長を経由して税務署長に届けた非課税口座内の上場株式等の配当所得及び譲渡所得については、当該非課税口座を開設した日の属する年の1月1日から10年以内に限り非課税とする措置が導入されました。

契約

工事名 一宮中学校屋内運動場改築工事
契約金額 1億9千2百42万3千円
請負業者 千葉市中央区新町1000番地
大成建設(株)千葉支社

支店長 近内 滋



始まった一宮中学校体育館改築工事

【議長・議員が出席した主な行事】

	4月	5月	6月			
議会の主な動き (平成22年4月～6月)	1日	愛光保育園入園式	14日	一宮町文化同好会連絡協議会総会	3日	一宮町交通安全対策協議会総会
	4日	九十九里漁業協同組合創立記念式典			7日	広域例月出納検査
	5日	一宮・原・東浪見保育所入所式	19日	一宮町例月出納検査	8日	議会運営委員会
	6日	一宮中学校入学式	19日	一宮町定例監査(19～21日)	8日	議員全体会議
	7日	一宮商業高校入学式	21日	一宮町商工会総会	8日	議会報編集委員会
	7日	東浪見・一宮小学校入学式	22日	東浪見小学校春季大運動会	13日	一宮町消防操法大会
	8日	議会報編集委員会	22日	水防訓練	17日	定例議会
	13日	玉前神社春季大祭	29日	むつざわ観光まつり	22日	一宮町例月出納検査
	13日	長生村議会議員選挙陣中見舞	31日	千葉県町村議会議長会総会	23日	一宮町シルバー人材センター事業報告会
	13日	招魂祭	31日	長生郡町村議会議長会総会	24日	一宮地区防犯組合連合会総会
	16日	一宮町つくも会総会			27日	長生支部消防操法大会
	18日	長生村議会議員選挙当選祝				
	20日	一宮町例月出納検査				
	21日	議会報編集委員会				
	21日	一宮町身障福祉会総会				
	22日	長生郡町村議会議長会臨時会				
	26日	広域議会運営委員会 ・臨時議会・全員協議会				
	28日	一宮町観光協会総会				
	30日	臨時議会				

予防ワクチン 接種に助成を



畑場博敏議員

予防接種ワクチンによる
予防が有効である。細菌性
髄膜炎や子宮頸がんは、自
治体によるワクチン接種の
公費助成が増えている。

国の公費負担で定期接種
できるよう働きかけをして
ほしい。昨年9月議会でヒ
ブワクチンについて国の助
成を求める意見書を議会決
議した。

町でも、国の助成が始ま
るまで公費助成を検討すべ
きである。
見解を求める。

助成は郡内 会議で検討

玉川町長 インフルエンザ
菌b型（ヒブ）は乳幼児に
細菌感染すると、肺炎とか
敗血症を引き起こす。5%
が死亡し、約25%が後遺症
をおこす病気である。予防
接種は公的医療保険の対象
外で任意接種である。

子宮頸がんもワクチン接
種で予防できる唯一のがん
で、世界ではワクチン接種
が常識になっている。
国に助成を強く求める
が、町助成は郡内各町村と
協議検討したい。

改善をは かっている

林総務課長 津波非難基準
は町単独での作成は難し
い。県は平成22年度に津波
非難に関する指針等を作成
し、市町村の避難計画を支
援することとなった。現在
沿岸部市町村で検討会をた
ちあげ指針づくりをしてい
る。町も実行性ある津波避
難基準を策定したい。な
お、対策の一部として全国
瞬時警報システムで住民周
知できる体制になっ
ていく。

報道に対し 善後策は

最近の新聞に一宮町が
「津波避難基準未策定市町
村のひとつ」や「障害年金
の案内せざる8自治体」と
報道された。いずれも事実
とすれば不名誉なことで当
然対策をとっていると思う
が善後策を伺いたい。

アンケート 結果、ど う生かす

「元気な農業をめざし
て」のアンケート結果がま
とまったが、今後の町農業
発展にどう生かすのか。農
家の生の声は、「後継者が
いない」「農産物の価格が



後継者に悩む今後の農業

連絡会議 つくり 協議する

安く困っている」「米の価
格の生産費を補える下支え
をしてほしい」などが60%
になっている。
国政で解決を図る問題、
町で工夫できる問題等整理
し、それぞれどうアプロ
チするのか伺う。
意見のあった、ジャンボ
タニシ対策も伺う。
玉川町長 町は、農業者組織
代表、県農林振興センター、
JA長生などと連絡会議をつ
くり、2ヶ月に一回程度定期
協議し、問題意識の共有、ど
うアクションを起こすのか検
討協議したい。

ジャンボタニシ対策は、
県に要望したが、現在長生
村に実証田をつくり、研究
中である。

一宮川整備による

松の現状は



志田延子議員

一宮川の改修工事も終盤になってきた。ふるさとの川整備計画も予算等の関係で後退した整備になっている。その結果、中の橋から下流右岸の松の植栽が、密

集している現状にある。松に悪影響があると考えるが対策を伺う。

早い時期に移植

小関都市環境課長 平成12年に県が中心となり一宮川ふるさとの川整備計画が策定され、検討委員会でJ R



密集している松

橋から下流側を松の並木道として整備するとした。県

が町道わきに移植のために植栽し育成したが、護岸工事の遅れから、密集している

現状である。長生地域整備センターは、今後工事の

現況を見極め、早い時期に計画に沿った移植を町と調整し対応する考えである。

緊急雇用の創出事業の内容は

総務課・住民課・産業観光課・福祉健康課・教育課・保育所での具体的な雇用内容を伺う。また、教育課で平成21年度におこなった町の歴史等の聞き取り調査の結果は公表されるのか。保育所の看護師は、期間1年終了後の配置はないのか。あらたに都市環境課で4名の雇用と聞いたが、内容を伺う。

雇用先と作業内容

玉川町長 現在13人の臨時職員を雇用している。

①総務課2名



統計調査の準備 (総務課)

- ・統計調査の準備
- ・車の運転等事務補助

②住民課1名

- ・戸籍の電算化データ作成
- ・業務関連の事務処理

③福祉健康課3名

- ・障害者自立支援法に基づく福祉サービス事業
- ・健康増進事業事務の補助

④産業観光課1名

- ・水稲の生産調整
- ・航空防除等農政事務補助

⑤保育所4名

- ・臨時保育士2名
- ・看護師1名

⑥教育課2名

- ・栄養士1名
- ・給食調理員1名

・事務補助1名
以上である。

歴史等の聞き取り調査は、記録として公表する予定である。

保育所看護師の期間終了後は、保育所職員で迅速な対応ができるよう、職員が講習会等に参加し技術の習得に努めている。

今回補正予算の都市環境課の雇用内容は4名で、側溝清掃・町道わきの土砂撤去・除草・枝切り・各排水機場の清掃等の作業である。また、すべての雇用期間は原則6カ月間、最長1年となっている。

あなたも議会を傍聴しませんか！

次回は9月15日(水)からの予定です

—お気軽にどうぞ—

請 願 の 審 査 結 果

件 名	請 願 者	結 果
「国営かんがい排水事業「両総地区」の完成にむけての意見書」採択に関する請願書	東金市東金 1163 両総土地改良区 理事長 森 英介	採 択
「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願書	千葉市中央区中央4-13-10 子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する 教育関係団体千葉県連絡会 会長 關 英昭	採 択
「国における平成23年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	千葉市中央区中央4-13-10 子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する 教育関係団体千葉県連絡会 会長 關 英昭	採 択
備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める請願	八街市八街は18 農民運動千葉連合会 代表者 大木 傳一郎	採 択
EPA・FTA 推進路線の見直しを求める請願	八街市八街は18 農民運動千葉連合会 代表者 大木 傳一郎	採 択

議 員 発 議 (意 見 書) の 審 査 結 果

件 名	提 出 者・賛 成 者	結 果
国営かんがい排水事業「両総地区」の完成にむけての意見書	・提出者 一宮町議会議員 森 佐衛 ・賛成者 一宮町議会議員 萩原 一美 ・賛成者 一宮町議会議員 緑川 弘行 ・賛成者 一宮町議会議員 室川 常夫 ・賛成者 一宮町議会議員 小関 国男	可 決
義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書	・提出者 一宮町議会議員 萩原 一美 ・賛成者 一宮町議会議員 島崎 保幸 ・賛成者 一宮町議会議員 高梨 邦俊 ・賛成者 一宮町議会議員 秦 重悦 ・賛成者 一宮町議会議員 畑場 博敏	可 決
国における平成23年度教育予算拡充に関する意見書	・提出者 一宮町議会議員 萩原 一美 ・賛成者 一宮町議会議員 島崎 保幸 ・賛成者 一宮町議会議員 高梨 邦俊 ・賛成者 一宮町議会議員 秦 重悦 ・賛成者 一宮町議会議員 畑場 博敏	可 決
備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める意見書	・提出者 一宮町議会議員 畑場 博敏 ・賛成者 一宮町議会議員 室川 常夫 ・賛成者 一宮町議会議員 小関 国男 ・賛成者 一宮町議会議員 森 佐衛 ・賛成者 一宮町議会議員 萩原 一美 ・賛成者 一宮町議会議員 緑川 弘行	可 決
国産農産物の生産者価格の大暴落を引き起こすEPA・FTA 路線の見直しを求める意見書	・提出者 一宮町議会議員 畑場 博敏 ・賛成者 一宮町議会議員 室川 常夫 ・賛成者 一宮町議会議員 小関 国男 ・賛成者 一宮町議会議員 森 佐衛 ・賛成者 一宮町議会議員 萩原 一美 ・賛成者 一宮町議会議員 緑川 弘行	可 決

編集後記

あじさい・はすの花が梅雨空に咲き誇っています。議会報が皆様に届く頃には参議院選も終わり、政治の方向性もみえていくことだろうと思います。六月のある講演会で「日本の価値観が世界をかえる」という力強いお話を聞いてきました。西洋の自然征服論や現在の民主主義・市場経済や観念だけでは、世の中は崩壊してしまう。このような時代だからこそ日本古来の、祖先と子孫への思い、自然との共栄共存の思想、欲望を抑える「足るを知る」という価値観、伝統を受け入れる文化、それらが世界を変える復元力になるというお話でした。

六月末には『日本型高齢社会』という著書を読みました。著者は町在住の方で、サブタイトルは「丈人のススメ」「平和団塊」が国難を救う」とあります。「丈人」とは身体を使って労働し、五穀を収穫する健丈な老者とありました。これらによって「日本型高齢社会」が世界の範となることを願っています。

志田延子議員